

第24回堺市精神保健福祉セミナー 『見て・聴いて・知って ～心と心でつながろう!!～』



DATA

●主な連携先・メンバー

堺市健康福祉局こころの健康センター／堺市精神保健福祉セミナー実行委員会

●活動地域

堺市

●活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発
- 2 市民のこころの健康の向上を図る

連携にいたる経緯

1994年度に堺市精神保健福祉セミナーが開始され、今回で24回目。堺市と関西大学との地域連携事業としては7回目を迎えた。堺市と関西大学との地域連携事業となり2014年度までは関西大学堺キャンパスにおいて開催したが、以降、障害者週間期間中に堺市立健康福祉プラザで開催している。

活動内容

今回は、「見て・聴いて・知って ～心と心でつながろう!!～」というタイトルで、12月8日(金)に、講演会、パネルディスカッションを開催。第一部で、『すみれ会の活動を通じて想うこと』というタイトルで、札幌市の当事者の会の活動をNPO法人すみれ会の石山貴博氏・石山由加氏に講演をしてもらい、第二部では、堺市で当事者として活動している3氏を交えてパネルディスカッションを行った。登壇者を、当事者のみとすることにより、精神障がいをもつ当事者の体験談や精神保健福祉に関する思いを、当事者の立場からセミナー参加者に語りかけることができた。講演・パネルディスカッションに合わせて、翌日の「障害者週間フェスティバル」の中で、作品募集に応募のあった精神障がい者による作品展示を行った。



活動の成果

- 1 当事者の語りをもとに、こころの病について、広く市民に具体的な知識を伝えた
- 2 当事者、関係支援機関、行政、大学と繋がりを構築し、精神保健福祉の連携を促進

今後の課題・目標

- 1 会場を堺市健康福祉プラザに移したことにより、減少している学生の参加を増やすこと
- 2 実行委員会形式で実施しているが、さらに参加機関・団体のネットワークを強化すること

● 教員紹介



人間健康学部 教授 黒田 研二(くろだ けんじ)

黒田教授は、本学で「精神保健福祉論」「高齢者福祉論」「医療福祉論」「予防医学」等の講義を担当。堺市精神保健福祉審議会会長を務めている。